

第2章 共通教育プログラム

第1節 共通教育プログラム概要

共通教育プログラムは、國學院大學のすべての学生に共通する学修目標を達成するために設けられた全学共通のカリキュラムです。共通する学修目標とは、大学での学びに必要なだけでなく、生涯学び続けるうえで必要なスキルを身につけること、及び主体的に社会に参加するために必要な知識やスキルを修得することになります。以上の目標を達成するために、6つの科目群が用意されていますが、どの科目群がどの目標を達成するためのものであるかは、明確に区別されているわけではなく、すべてが一体となって目標を達成するように設計されています。そして、これらを修得することは、専門科目を学修することとあわせて、最終的には、自らのアイデンティティを確立し、知的に豊かな生活を送ることを可能とするものと言えるでしょう。

つまり、共通教育プログラムと専門教育科目は、互いに独立したものではなく、学生の皆さんが、それらを有機的に関連させた学修をすることによって、4年間の学士課程教育の教育目標が達成されることが期待されるものとなっています。

共通教育プログラムの詳細は、國學院大學ホームページから閲覧可能です。

(掲載場所)

國學院大學ホームページ：

トップページ > 教育 > 学びの領域とカリキュラム > 共通教育プログラム

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/curriculum/p1>



学修成果参照基準

ディプロマ・ポリシーに相当する「学修成果参照基準 (RS: Reference Standard)」を以下のように定め、文・法・経済学部は卒業要件36単位、神道文化・人間開発・観光まちづくり学部は卒業要件26単位で修得されるべき学修成果目標を明示しています。

A 知識・技能

- (RS-A1) 建学の精神と神道精神を理解し、日本文化を説明できる。
- (RS-A2) 日本語を正確に読み、表現することができる。
- (RS-A3) 1つ以上の外国語を用いてコミュニケーションすることができる。
- (RS-A4) コンピュータを活用して学修することができる。

B 思考力・判断力・表現力

- (RS-B1) 数値に基づいて思考し、論証することができる。
- (RS-B2) 客観的事実に基づいて論理的に思考し、説明することができる。
- (RS-B3) 俯瞰的視点から思考し、自己の学びを相対化することができる。
- (RS-B4) 社会のルールを理解することができる。

C 主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度

- (RS-C1) 他者の価値観を尊重し、異文化を受容できる。
- (RS-C2) 協働して最適な解を導き出そうとした体験を持つ。
- (RS-C3) 主体性を持った市民としての協働意識、参加意識を身につける。
- (RS-C4) 身体的又は精神的な負荷を意欲に転化することができる。

カリキュラム・ポリシー

「学修成果参照基準」に定められた12の能力を身につけるために下表に示された6つの科目群（國學院科目群、言語スキル科目群、STEM系科目群、シチズンシップ科目群、専門教養科目群、ライフデザイン科目群）から構成される教育課程を設けています。各科目群の教育目標に応じた重点箇所を、以下に◎及び○で示します（◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている）。

科目区分		学修成果参照基準 (RS)											
		知識・技能				思考力・判断力・表現力				主体性を保持しつつ多様な人びとと協働して学ぶ態度			
		A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4
國學院科目群	神道と文化	◎											
	國學院の学び	◎											
	日本文化を知る	◎											
	Japan Studies	○		○						◎			
言語スキル科目群	言語技能とリテラシーズ		◎		○		○						
	英語			◎						○			
	外国語			○						◎			
STEM系科目群	データ・サイエンス				◎	○							
	科学と論理					◎	○	○					
	まちづくりとエンジニアリング					○	◎	○					
シチズンシップ科目群	法学(日本国憲法)									◎	○		○
	政治と社会参加									○	○		◎
	法と社会参加									○	○		◎
	経済と社会参加									○	○		◎
	行政と市民生活									○	○		◎
	情報化社会と市民									○	○		◎
	スポーツと社会									○	○		◎
	共存・共生の思想									○	○		◎
	共生社会とコミュニケーション									○	○		◎
専門教養科目群	日本の文学と歴史						○	○		◎			
	アジアの歴史と文化						○	○		◎			
	世界の文化と思想						○	○		◎			
	法学・政治学					○	◎	○					
	経済学					○	◎	○					
	経営学					○	◎	○					
ライフデザイン科目群	導入科目		○								◎		
	スポーツ科学					○					○		○
	こころとからだ						○					○	○
	キャリア形成支援								○		○	◎	
	PCAP科目							○	○			◎	

カリキュラム構成及び科目群・各科目の教育目標

國學院科目群

國學院大學の建学の精神、学問的伝統に触れ、神道精神の本質と國學院大學が培ってきた日本研究の成果と学問的伝統を学び、日本文化への理解を深める。これを通じて日本人としての主体性、大学に対する帰属意識を涵養する。さらに、全体として、創造性を養うことにも力点をおいている科目群である。

神道と文化

本学の建学の精神であり、日本文化の基層である神道の精神を理解する。あわせて、本学の歴史と学統への学びを通じて、本学学生としての自覚を獲得する。

國學院の学び

國學院大學の歴史、学問的伝統を具現化した諸学問を学ぶ。

日本文化を知る

日本の伝統文化の歴史的形成と特質、現代における意義を学ぶとともに、伝統文化の実践を体験する実技体験型授業等を通じて、日本文化の諸表現形態を体得する。

Japan Studies

日本の文化、社会、歴史等を英語で学ぶことによって、日本を相対化する視点を獲得するとともに、グローバル環境において日本文化を発信する視点と技能を身につける。

言語スキル科目群

社会においては、特に、グローバル社会の中にあっては、相互を理解し合ったうえで、コミュニケーションをとることが重要である。言語スキル科目群を構成する科目は、日本語及び英語を含む外国語の学修を通じて、そうした異文化理解とコミュニケーション能力を培う第一歩となるものである。それに加えて、論理的な文章を書く能力や説得的なプレゼンテーションをする能力といった言語スキルは、大学での学修においても必須の技能と言える。そうしたスキルを養う科目も、この科目群に置かれている。

言語技能とリテラシー

大学におけるすべての学修の基礎となる日本語理解力、表現力、語彙力、文章構成力等を研磨し、適切な日本語コミュニケーション能力を獲得する。さらに、上記の学修を通じて、論理的に思考することや、外国語の能力を伸ばすことにつなげる。そうしたスキルを養う科目が、この科目群のひとつの柱となる。それに加えて、文章、発話を問わず日本語での表現力を豊かにすること、及び日本語を素材として、学習や研究のスキルを修得することを目的とした科目も置かれている。

英語

グローバル化する知識基盤社会の国際共通語である英語力の習熟を目的とし、読む、書く、聞く、話すの4技能をバランス良く修得することによって、さらには、自身の専門領域に引きつけて学修することによって、英語力を高める。

外国語

英語を除く外国語の導入学修を通じて、学修のために必要な言語スキルの幅を広げるだけでなく、日本語や英語のより深い理解へとつなげる。また、多様な言語を学ぶことを通じて、異文化を理解する手がかかりをつかむ。一部の外国語については、発展的学修を行い、当該言語のいっそうの習熟をはかる。

ある国の言語を知ること、その国の文化や社会を知ることの第一歩となる。また、初めて学ぶ言語であれば、どの国の言語であれ、学修の難易度に大きな差はない。自身の知的世界を拡げていくために、是非とも、未知の外国語にチャレンジしてほしい。

STEM系科目群

STEMとは、Science、Technology、Engineering及びMathematicsの頭文字である。これらの基礎を学修することは、実は文系、理系を問わず必要なことである。また、今後ますます技術革新が進むであろう社会にあって、エビデンスに基づいて適切な情報を選択し、既成の概念を論理的かつ批判的に検証し、革新的な提案をするために必要なものでもある。なお、近年では、STEMでは涵養しがたいとされる「創造性」をも育むために、Artを含めたSTEAMという語が用いられることもあるが、國學院大學にあっては、Artの

涵養は、國學院科目や専門教養科目を履修することで可能である。

データ・サイエンス

大学の学修の基礎的スキルであり、社会生活及び職業生活において不可欠な2つのスキル、すなわち、第1に、情報機器の操作方法、情報ネットワーク及び各種ソフトウェアの実践的活用法を、第2に、抽象的に思考し、様々な事象を数的・統計的に処理し、認識されたパターンや数値に基づいて原因や結果を推論する力を修得する。

科学と論理

専門的な学修に不可欠な科学的な思考方法及び論理的な思考方法を、次の2つの方法で身につける。すなわち、第1に、自然科学の学修を通じて、複雑な事象を抽象化する力、観察された事実から適切に仮説を立て、証拠に基づいて検証する力を養うことであり、第2に、日常生活におけるさまざまな議論の評価に必要とされる論理的基準と原理を学び、仮説を論証する力を涵養することである。

まちづくりとエンジニアリング

「パブリックデザイン」、「都市計画」、「地域防災・減災」、「デジタル・ネットワーク」などを題材として、まちづくり、地域づくりを中心に、現在ある問題に対して論理的に導き出された解決策を実現するための具体的な方法としての「技術」を見つけ出す力、及び科学に裏打ちされた先端的な技術に基づき、新しいものを創造する力を涵養する。

シチズンシップ科目群

我々は、好むと好まざるとに関わらず、種々のコミュニティに属している。そうしたコミュニティの構成員（とりわけ市民）として、コミュニティに主体的に参加することの意義や、そもそも市民とは何であるかを考え、コミュニティに参加するために必要な知識と技能、さらに進んで、コミュニティをよりよくするための提言に必要な知識と技能を涵養する科目群である。この科目群を構成する科目は、基本的に、以下のようなことがらを具体的な事例をもとにして、より実践的に学ぶことになる。

法学（日本国憲法）

統治構造や法規範の原理原則を定め、自由で公正な社会を築き、かつ維持していくうえで重要な国家と個人又は個人と個人の基本的な在り方を定めた最も基本的な法としての憲法、とりわけ日本国憲法を学ぶ。

政治と社会参加

政治を通じて社会へ参加していくことの意義、コミュニティにおける意思決定のありよう、市民の価値選択を政策へと反映させる方法などを学修する。

法と社会参加

社会の規範である「法」がどのような役割を果たしているのか、どのように運用されているのか、そして、あるべき法の姿はどのようなものであると考えられるかなどを、具体的な事例をもとに学修する。

経済と社会参加

経済、金融及び財政に関わる政策を理解するために必要な基礎知識を身につけるとともに、社会における経済的な営みに、市民がどのように主体的に関わり得るのかを学修する。

行政と市民生活

市民社会の中において行政機関がどのように機能し、どのような領域の市民生活に、どのような影響を及ぼしているかを学ぶ。

情報化社会と市民

高度に情報化した社会において、情報が市民の価値選択にどのような影響を及ぼし得るのか、そうした状況下において、理想的な情報の取得や情報の発信とはどのようなものであるのかを学ぶ。

スポーツと社会

スポーツを題材として、法や倫理と言った社会規範を学び、スポーツが、そうした規範意識の形成、さらには、公平・公正な社会の構築にどのように関わり得るのかを学ぶ。

共存・共生の思想

多様な人びとの結びつきによって構成される社会にあって、いかに互いの存在を受け容れ、尊重し合い、関係性の豊かさを構築していけるかを、様々な視点から学ぶ。

共生社会とコミュニケーション

多様な背景を持つ人々が共生社会で円滑に協働するためのコミュニケーション方法と課題を学び、実践を通じて必要なスキルと態度を学ぶ。

専門教養科目群

大学においては、自らが選択した専門科目を深く学ぶことが当然に求められる。しかし、それは、自らが選択した専門領域の科目“だけ”を学ばよということと同じではない。時には、専門とは全く異なる領域の科目を学ぶことが、専門領域の科目をより深く理解し、又は、全く異なる視点から探究するのに資することもある。また、学問を離れて、何らかの判断を迫られた際に最適な選択をするのに役立つこともある。國學院大學では、そうした他の領域の専門科目を学修する機会を保証するために、全学オープン科目を設けているが、そこに属する専門科目の学修をより容易にするために、それぞれの専門科目の基礎部分を講義する「専門教養」科目を置いている。

他の領域の科目を、広く浅く学修することに意味がないわけではないが、自らが選択した専門領域の知の体系がどのように構築されているのかを他との比較の中で確認するためには、他の領域の科目についても、その体系性を確認できる程度には深く学ぶ必要がある。専門教養科目と全学オープン科目の一部を組み合わせた「パッケージ」が設定されているのは、そのためである。なお、文・法・経済学部においては、パッケージの中から一定の単位数を修得することが求められている。

パッケージ名

日本の文学と歴史、アジアの歴史と文化、世界の文化と思想、法学・政治学、経済学、経営学

ライフデザイン科目群

目標を達成するためには、達成までの具体的な道筋を描くことが大切である。そして、描いた道筋に沿って漫然と進むのではなく、正しい道りを歩んでいるかを絶えず確かめ、場合によっては引き返すことも選択しなければならない。ライフデザイン科目群は、大学における学修や卒業後のキャリア形成を含め、自らの行動について、短期、中期及び長期的な計画を立てる力及びそれを実行する力、並びに必要なときに、自身が置かれている状況を見極めて、それに対応する力の涵養を目指す科目群である。また、自身のキャリアを形成するにあたっては、自己の生活をコントロールすることや、他者と適切な関係を築くことも必要となってくる。この科目群では、そのための一手段として、自己及び他者のこころや身体の有様を正しく理解する力を養う科目も置かれている。

導入科目（人間開発学部のみ履修可）

調査、発表、討議といった学問の基礎的スキルを学ぶとともに、実践的活動を通して主体性や協調性を涵養し、大学における修学の基礎力を培う。

スポーツ科学

人間の身体の仕組みやスポーツなどの身体運動が健康の保持増進に果たす役割を理解し、生涯にわたって健康的な生活を送るための知識と体験を得る。

こころとからだ

自己及び他者のこころや身体の有様を正しく理解し、他者との適切な関係を築き、自己の生活をコントロールする力を養う。

キャリア形成支援

自己認識を深め、大学4年間の学修計画を立て、学生から社会人へのキャリア展開の多様な可能性を認識し、社会との関わりにおいて将来を構想する力を獲得する。

PCAP（Practical Career Advancement Program）科目

卒業後公務員職に就くこと、又はグローバルなビジネスに従事することを目指して、必要な実践的知識と技能を獲得し、社会人基礎力を身につける。

第2節 卒業に必要な最低単位数

下表内の数値は、各学部・学科が科目区分ごとに指定している〔必修・選択必修科目〕の卒業要件単位数を表しています。卒業要件科目として指定される〔必修・選択必修科目〕は、所属する学部・学科ごとに異なるため、下表をよく確認したうえで履修してください。

文学部

科目区分		日本文学科	中国文学科	外国語文化学科	史学科	哲学科
國學院科目群	神道と文化	2	2	2	2	2
	國學院の学び					
	日本文化を知る					
	Japan Studies					
言語スキル科目群	言語技能とリテラシーズ	・英語12 ・入学手続き時に選択した外国語4を含む 計16以上	・英語2 ・中国語8を含む 計10以上	・英語4 ・入学手続き時に選択した外国語8を含む 計12以上	・英語12 ・入学手続き時に選択した外国語4を含む 計16以上	・英語8 ・入学手続き時に選択した外国語8を含む 計16以上
	英語					
	外国語					
STEM系科目群	データ・サイエンス	2以上	4以上	4以上	4以上	4以上
	科学と論理					
	まちづくりとエンジニアリング					
シチズンシップ科目群	法学（日本国憲法）	2以上	2以上	2以上	2以上	2以上
	政治と社会参加					
	法と社会参加					
	経済と社会参加					
	行政と市民生活					
	情報化社会と市民					
	スポーツと社会					
	共存・共生の思想					
	共生社会とコミュニケーション					
専門教養科目群	日本の文学と歴史	パッケージを1つ選択し、 選択したパッケージから8以上 文学部の学生は、 日本の文学と歴史・アジアの歴史と文化・世界の文化と思想 のパッケージを選択することはできません				
	アジアの歴史と文化					
	世界の文化と思想					
	法学・政治学					
	経済学					
	経営学					
ライフデザイン科目群	導入科目	履修不可	履修不可	履修不可	履修不可	履修不可
	スポーツ科学					
	こころとからだ					
	キャリア形成支援					
	PCAP科目*					
共通教育科目合計		36	36	36	36	36

* PCAP科目は、「Practical Career Advancement Program」登録者のみ履修できる。

法学部・経済学部・神道文化学部

科目区分		法学部	経済学部	神道文化学部
國學院科目群	神道と文化	2	2	履修不可
	國學院の学び			
	日本文化を知る			
	Japan Studies			
言語スキル科目群	言語技能とリテラシーズ	英語 8 を含む 計12以上	・英語 8 ・「アカデミック・リテラシーズ I」、8 単位を超えて修得した英語、外国語のいずれか 2 を含む	英語 8 を含む 計12以上
	英語		計10以上	
	外国語			
STEM系科目群	データ・サイエンス	4 以上	・「コンピュータと情報 I」 2 ・「数的推論 I」 2 ・「コンピュータと情報 II」 「データ・リテラシー」のいずれか 2 を含む	4 以上
	科学と論理		計 6 以上	
	まちづくりとエンジニアリング			
シチズンシップ科目群	法学（日本国憲法）	2 以上	2 以上	2 以上
	政治と社会参加			
	法と社会参加			
	経済と社会参加			
	行政と市民生活			
	情報化社会と市民			
	スポーツと社会			
	共存・共生の思想			
	共生社会とコミュニケーション			
専門教養科目群	日本の文学と歴史	パッケージを 1つ選択し、 選択したパッケージから 8 以上	パッケージを 1つ選択し、 選択したパッケージから 8 以上	
	アジアの歴史と文化			
	世界の文化と思想			
	法学・政治学			
	経済学			
	経営学			
ライフデザイン科目群	導入科目	履修不可	履修不可	履修不可
	スポーツ科学			
	こころとからだ			
	キャリア形成支援			
	PCAP科目※1			
共通教育科目合計		36	36	26

※1 PCAP科目は、「Practical Career Advancement Program」登録者のみ履修できる。

人間開発学部・観光まちづくり学部

科目区分		初等教育学科	健康体育学科	子ども支援学科	観光まちづくり学科
國學院科目群	神道と文化	2	2	2	2
	國學院の学び				
	日本文化を知る				
	Japan Studies				
言語スキル科目群	言語技能とリテラシーズ				・英語 8 ・入学手続時に選択した外国語 4を含む 計12以上
	英語	8	8	8	
	外国語				
STEM系科目群	データ・サイエンス	4以上	4以上	4以上	2以上
	科学と論理				
	まちづくりとエンジニアリング				
シチズンシップ科目群	法学（日本国憲法）	4以上	4以上	4以上	
	政治と社会参加				
	法と社会参加				
	経済と社会参加				
	行政と市民生活				
	情報化社会と市民				
	スポーツと社会				
	共存・共生の思想				
共生社会とコミュニケーション					
専門教養科目群	日本の文学と歴史				
	アジアの歴史と文化				
	世界の文化と思想				
	法学・政治学				
	経済学				
	経営学				
ライフデザイン科目群	導入科目	2	2	2	
	スポーツ科学	2	2	3	
	こころとからだ				
	キャリア形成支援				
	PCAP科目※				
共通教育科目合計		26	26	26	26

※ PCAP科目は、「Practical Career Advancement Program」登録者のみ履修できる。

第3節 カリキュラムの構成と履修方法

1. 國學院科目群

文学部・法学部・経済学部・人間開発学部

授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
神道と文化	半期	2	1	2単位必修	
國學院の学び	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
日本文化を知る	半期	2	1		
Japan Studies	半期	2	2		8単位まで複数履修可

神道文化学部

授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
國學院の学び	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
日本文化を知る	半期	2	1		
Japan Studies	半期	2	2		8単位まで複数履修可

観光まちづくり学部

授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
神道と文化	半期	2	1	2単位必修	
國學院の学び	半期	2	1・2		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
日本文化を知る	半期	2	1・2		
Japan Studies	半期	2	2・3		8単位まで複数履修可

2. 言語スキル科目群

学部・学科の指定により卒業要件単位数及び履修方法等が異なるため、自身の所属学部・学科の該当ページを確認のうえで卒業に必要な単位を修得すること。なお、英語の詳細については38ページを、英語以外の外国語の詳細については39ページを参照すること。

文学部日本文学科

言語スキル科目群から16単位以上修得すること。ただし、英語12単位、入学手続き時に選択した外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語のいずれか）4単位を含まなければならない。なお、入学時に選択した外国語は変更することができない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能とリテラシーズ	アカデミック・リテラシーズⅠ	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーズⅡ	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーズⅠ」が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
英語	英語Ⅰ	半期	2	1	12単位選択必修	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は習熟度別クラス 詳細は38ページ参照
	英語Ⅱ	半期	2	1		
	英語Ⅲ	半期	2	1		
	英語Ⅳ	半期	2	1		
	英語Ⅴ	半期	2	1		
外国語	ドイツ語Ⅰ	半期	2	1	ドイツ語選択者はⅠ(総合)・Ⅱ(総合)4単位必修	選択した外国語の必修科目以外はすべて選択科目として履修可 詳細は39ページ参照
	ドイツ語Ⅱ	半期	2	1		
	ドイツ語Ⅲ	半期	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	半期	2	2		
	フランス語Ⅰ	半期	2	1	フランス語選択者はⅠ(総合)・Ⅱ(総合)4単位必修	
	フランス語Ⅱ	半期	2	1		
	フランス語Ⅲ	半期	2	2		
	フランス語Ⅳ	半期	2	2		
	中国語Ⅰ	半期	2	1	中国語選択者はⅠ(総合)・Ⅱ(総合)4単位必修	
	中国語Ⅱ	半期	2	1		
	中国語Ⅲ	半期	2	2		
	中国語Ⅳ	半期	2	2		
	韓国語Ⅰ	半期	2	1	韓国語選択者はⅠ(総合)・Ⅱ(総合)4単位必修	
	韓国語Ⅱ	半期	2	1		
	韓国語Ⅲ	半期	2	2		
	韓国語Ⅳ	半期	2	2		
	ロシア語Ⅰ	半期	2	1		
	ロシア語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅰ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅲ	半期	2	2		
	スペイン語Ⅳ	半期	2	2		
	イタリア語Ⅰ	半期	2	1		
	イタリア語Ⅱ	半期	2	1		
	ポルトガル語Ⅰ	半期	2	1		
	ポルトガル語Ⅱ	半期	2	1		
	留学外国語	半期	2	1	海外留学による単位認定	単位認定は同一言語内において2科目4単位まで(同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外)

文学部中国文学科

言語スキル科目群から10単位以上修得すること。ただし、英語2単位、中国語8単位を含まなければならない。なお、英語は最大4単位までしか修得できない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能と リテラシーズ	アカデミック・リテラシーズⅠ	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーズⅡ	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーズⅠ」 が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の 授業科目でも複数履修可
英語	英語Ⅰ	半期	2	1	2単位選択必修 (最大4単位まで)	「英語Ⅰ」は習熟度別クラス 詳細は38ページ参照
	英語Ⅲ	半期	2	1		
	英語Ⅳ	半期	2	1		
	英語Ⅴ	半期	2	1		
外国語	ドイツ語Ⅰ	半期	2	1	Ⅰ(総合)・Ⅱ(総合)・Ⅲ(総合)・ Ⅳ(総合)8単位 必修	中国語Ⅰ(総合)・Ⅱ(総合)・ Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)以外は すべて選択科目として履修可 詳細は39ページ参照
	ドイツ語Ⅱ	半期	2	1		
	ドイツ語Ⅲ	半期	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	半期	2	2		
	フランス語Ⅰ	半期	2	1		
	フランス語Ⅱ	半期	2	1		
	フランス語Ⅲ	半期	2	2		
	フランス語Ⅳ	半期	2	2		
	中国語Ⅰ	半期	2	1		
	中国語Ⅱ	半期	2	1		
	中国語Ⅲ	半期	2	2		
	中国語Ⅳ	半期	2	2		
	コリア語Ⅰ	半期	2	1		
	コリア語Ⅱ	半期	2	1		
	コリア語Ⅲ	半期	2	2		
	コリア語Ⅳ	半期	2	2		
	ロシア語Ⅰ	半期	2	1		
	ロシア語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅰ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅲ	半期	2	2		
	スペイン語Ⅳ	半期	2	2		
	イタリア語Ⅰ	半期	2	1		
	イタリア語Ⅱ	半期	2	1		
ポルトガル語Ⅰ	半期	2	1			
ポルトガル語Ⅱ	半期	2	1			
	留学外国語	半期	2	1	海外留学による 単位認定	単位認定は同一言語内において 2科目4単位まで(同一留学先に 複数回参加した場合、二度目以降 は単位認定対象外)

文学部外国語文化学科

言語スキル科目群から12単位以上修得すること。ただし、英語4単位、入学手続き時に選択した外国語（ドイツ語・フランス語・中国語のいずれか）8単位を含まなければならない。なお、入学時に選択した外国語は変更することができない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能とリテラシーズ	アカデミック・リテラシーズⅠ	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーズⅡ	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーズⅠ」が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
英語	英語Ⅰ	半期	2	1	4単位選択必修	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は習熟度別クラス 詳細は38ページ参照
	英語Ⅱ	半期	2	1		
	英語Ⅲ	半期	2	1		
	英語Ⅳ	半期	2	1		
	英語Ⅴ	半期	2	1		
外国語	ドイツ語Ⅰ	半期	2	1	ドイツ語選択者はⅠ(総合)・Ⅱ(総合)・Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)8単位必修	選択した外国語の必修科目以外はすべて選択科目として履修可 詳細は39ページ参照
	ドイツ語Ⅱ	半期	2	1		
	ドイツ語Ⅲ	半期	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	半期	2	2		
	フランス語Ⅰ	半期	2	1	フランス語選択者はⅠ(総合)・Ⅱ(総合)・Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)8単位必修	
	フランス語Ⅱ	半期	2	1		
	フランス語Ⅲ	半期	2	2		
	フランス語Ⅳ	半期	2	2		
	中国語Ⅰ	半期	2	1	中国語選択者はⅠ(総合)・Ⅱ(総合)・Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)8単位必修	
	中国語Ⅱ	半期	2	1		
	中国語Ⅲ	半期	2	2		
	中国語Ⅳ	半期	2	2		
	コリア語Ⅰ	半期	2	1		
	コリア語Ⅱ	半期	2	1		
	コリア語Ⅲ	半期	2	2		
	コリア語Ⅳ	半期	2	2		
	ロシア語Ⅰ	半期	2	1		
	ロシア語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅰ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅲ	半期	2	2		
	スペイン語Ⅳ	半期	2	2		
	イタリア語Ⅰ	半期	2	1		
	イタリア語Ⅱ	半期	2	1		
	ポルトガル語Ⅰ	半期	2	1		
	ポルトガル語Ⅱ	半期	2	1		
	留学外国語	半期	2	1	海外留学による単位認定	単位認定は同一言語内において2科目4単位まで(同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外)

文学部史学科

言語スキル科目群から16単位以上修得すること。ただし、英語12単位、入学手続き時に選択した外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語のいずれか）4単位を含まなければならない。なお、入学時に選択した外国語は変更することができない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能とリテラシー	アカデミック・リテラシーI	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーII	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーI」が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
英語	英語I	半期	2	1	12単位選択必修	「英語I」「英語II」は習熟度別クラス 詳細は38ページ参照
	英語II	半期	2	1		
	英語III	半期	2	1		
	英語IV	半期	2	1		
	英語V	半期	2	1		
外国語	ドイツ語I	半期	2	1	ドイツ語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	選択した外国語の必修科目以外はすべて選択科目として履修可 詳細は39ページ参照
	ドイツ語II	半期	2	1		
	ドイツ語III	半期	2	2		
	ドイツ語IV	半期	2	2		
	フランス語I	半期	2	1	フランス語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	
	フランス語II	半期	2	1		
	フランス語III	半期	2	2		
	フランス語IV	半期	2	2		
	中国語I	半期	2	1	中国語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	
	中国語II	半期	2	1		
	中国語III	半期	2	2		
	中国語IV	半期	2	2		
	韓国語I	半期	2	1	韓国語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	
	韓国語II	半期	2	1		
	韓国語III	半期	2	2		
	韓国語IV	半期	2	2		
	ロシア語I	半期	2	1	ロシア語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	
	ロシア語II	半期	2	1		
	スペイン語I	半期	2	1		
	スペイン語II	半期	2	1		
	スペイン語III	半期	2	2		
	スペイン語IV	半期	2	2		
	イタリア語I	半期	2	1		
	イタリア語II	半期	2	1		
	ポルトガル語I	半期	2	1		
	ポルトガル語II	半期	2	1		
	留学外国語	半期	2	1	海外留学による単位認定	単位認定は同一言語内において2科目4単位まで(同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外)

文学部哲学科

言語スキル科目群から16単位以上修得すること。ただし、英語8単位、入学手続き時に選択した外国語（ドイツ語・フランス語・中国語のいずれか）8単位を含まなければならない。なお、入学手続き時に選択した外国語の変更を希望する場合は、2年次前期の履修登録期間に教務課（渋谷）へ申し出ること（変更が認められた場合は、1年次に修得すべき科目を改めて履修することになる）。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能と リテラシーズ	アカデミック・リテラシーズⅠ	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーズⅡ	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーズⅠ」 が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の 授業科目でも複数履修可
英語	英語Ⅰ	半期	2	1	8単位選択必修	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は習熟度 別クラス 詳細は38ページ参照
	英語Ⅱ	半期	2	1		
	英語Ⅲ	半期	2	1		
	英語Ⅳ	半期	2	1		
	英語Ⅴ	半期	2	1		
外国語	ドイツ語Ⅰ	半期	2	1	ドイツ語選択者は Ⅰ（総合）・Ⅱ（総合） Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合） 8単位必修	選択した外国語の必修科目以 外はすべて選択科目として履 修可 詳細は39ページ参照
	ドイツ語Ⅱ	半期	2	1		
	ドイツ語Ⅲ	半期	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	半期	2	2		
	フランス語Ⅰ	半期	2	1	フランス語選択者は Ⅰ（総合）・Ⅱ（総合） Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合） 8単位必修	
	フランス語Ⅱ	半期	2	1		
	フランス語Ⅲ	半期	2	2		
	フランス語Ⅳ	半期	2	2		
	中国語Ⅰ	半期	2	1	中国語選択者は Ⅰ（総合）・Ⅱ（総合） Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合） 8単位必修	
	中国語Ⅱ	半期	2	1		
	中国語Ⅲ	半期	2	2		
	中国語Ⅳ	半期	2	2		
	コリア語Ⅰ	半期	2	1		
	コリア語Ⅱ	半期	2	1		
	コリア語Ⅲ	半期	2	2		
	コリア語Ⅳ	半期	2	2		
	ロシア語Ⅰ	半期	2	1		
	ロシア語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅰ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅲ	半期	2	2		
	スペイン語Ⅳ	半期	2	2		
	イタリア語Ⅰ	半期	2	1		
	イタリア語Ⅱ	半期	2	1		
ポルトガル語Ⅰ	半期	2	1			
ポルトガル語Ⅱ	半期	2	1			
	留学外国語	半期	2	1	海外留学による 単位認定	単位認定は同一言語内において 2科目4単位まで（同一留学先に 複数回参加した場合、二度目以降 は単位認定対象外）

法学部・神道文化学部

言語スキル科目群から12単位以上修得すること。ただし、英語8単位を含まなければならない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能と リテラシーズ	アカデミック・リテラシーズⅠ	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーズⅡ	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーズⅠ」 が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の 授業科目でも複数履修可
英語	英語Ⅰ	半期	2	1	8単位選択必修	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は習熟度 別クラス 詳細は38ページ参照
	英語Ⅱ	半期	2	1		
	英語Ⅲ	半期	2	1		
	英語Ⅳ	半期	2	1		
	英語Ⅴ	半期	2	1		
外国語	ドイツ語Ⅰ	半期	2	1		詳細は39ページ参照
	ドイツ語Ⅱ	半期	2	1		
	ドイツ語Ⅲ	半期	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	半期	2	2		
	フランス語Ⅰ	半期	2	1		
	フランス語Ⅱ	半期	2	1		
	フランス語Ⅲ	半期	2	2		
	フランス語Ⅳ	半期	2	2		
	中国語Ⅰ	半期	2	1		
	中国語Ⅱ	半期	2	1		
	中国語Ⅲ	半期	2	2		
	中国語Ⅳ	半期	2	2		
	韓国語Ⅰ	半期	2	1		
	韓国語Ⅱ	半期	2	1		
	韓国語Ⅲ	半期	2	2		
	韓国語Ⅳ	半期	2	2		
	ロシア語Ⅰ	半期	2	1		
	ロシア語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅰ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅲ	半期	2	2		
	スペイン語Ⅳ	半期	2	2		
	イタリア語Ⅰ	半期	2	1		
イタリア語Ⅱ	半期	2	1			
ポルトガル語Ⅰ	半期	2	1			
ポルトガル語Ⅱ	半期	2	1			
	留学外国語	半期	2	1	海外留学による 単位認定	単位認定は同一言語内において 2科目4単位まで(同一留学先に 複数回参加した場合、二度目以降 は単位認定対象外)

経済学部

言語スキル科目群から10単位以上修得すること。ただし、英語8単位を含めなければならず、残る2単位については、「アカデミック・リテラシーⅠ」・英語・外国語のいずれかで修得しなければならない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能とリテラシー	アカデミック・リテラシーⅠ	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーⅡ	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーⅠ」が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
英語	英語Ⅰ	半期	2	1	8単位 選択必修	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は習熟度別クラス 詳細は38ページ参照
	英語Ⅱ	半期	2	1		
	英語Ⅲ	半期	2	1		
	英語Ⅳ	半期	2	1		
	英語Ⅴ	半期	2	1		
外国語	ドイツ語Ⅰ	半期	2	1	・「アカデミック・リテラシーⅠ」 ・8単位を超えて修得した英語 ・外国語 のいずれか2単位	詳細は39ページ参照
	ドイツ語Ⅱ	半期	2	1		
	ドイツ語Ⅲ	半期	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	半期	2	2		
	フランス語Ⅰ	半期	2	1		
	フランス語Ⅱ	半期	2	1		
	フランス語Ⅲ	半期	2	2		
	フランス語Ⅳ	半期	2	2		
	中国語Ⅰ	半期	2	1		
	中国語Ⅱ	半期	2	1		
	中国語Ⅲ	半期	2	2		
	中国語Ⅳ	半期	2	2		
	コリア語Ⅰ	半期	2	1		
	コリア語Ⅱ	半期	2	1		
	コリア語Ⅲ	半期	2	2		
	コリア語Ⅳ	半期	2	2		
	ロシア語Ⅰ	半期	2	1		
	ロシア語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅰ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅲ	半期	2	2		
	スペイン語Ⅳ	半期	2	2		
	イタリア語Ⅰ	半期	2	1		
	イタリア語Ⅱ	半期	2	1		
	ポルトガル語Ⅰ	半期	2	1		
	ポルトガル語Ⅱ	半期	2	1		
	留学外国語	半期	2	1	海外留学による単位認定	単位認定は同一言語内において2科目4単位まで(同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外)

人間開発学部

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能と リテラシーズ	アカデミック・リテラシーズⅠ	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーズⅡ	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーズⅠ」 が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の 授業科目でも複数履修可
英語	英語Ⅰ	半期	2	1	8単位選択必修	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は習熟度 別クラス 詳細は38ページ参照
	英語Ⅱ	半期	2	2		
	英語Ⅲ	半期	2	1		
	英語Ⅳ	半期	2	1		
	英語Ⅴ	半期	2	1		
外国語	ドイツ語Ⅰ	半期	2	1		詳細は39ページ参照
	ドイツ語Ⅱ	半期	2	1		
	ドイツ語Ⅲ	半期	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	半期	2	2		
	フランス語Ⅰ	半期	2	1		
	フランス語Ⅱ	半期	2	1		
	フランス語Ⅲ	半期	2	2		
	フランス語Ⅳ	半期	2	2		
	中国語Ⅰ	半期	2	1		
	中国語Ⅱ	半期	2	1		
	中国語Ⅲ	半期	2	2		
	中国語Ⅳ	半期	2	2		
	韓国語Ⅰ	半期	2	1		
	韓国語Ⅱ	半期	2	1		
	韓国語Ⅲ	半期	2	2		
	韓国語Ⅳ	半期	2	2		
	ロシア語Ⅰ	半期	2	1		
	ロシア語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅰ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅱ	半期	2	1		
	スペイン語Ⅲ	半期	2	2		
	スペイン語Ⅳ	半期	2	2		
	イタリア語Ⅰ	半期	2	1		
	イタリア語Ⅱ	半期	2	1		
	ポルトガル語Ⅰ	半期	2	1		
	ポルトガル語Ⅱ	半期	2	1		
	留学外国語	半期	2	1	海外留学による 単位認定	単位認定は同一言語内において 2科目4単位まで(同一留学先に 複数回参加した場合、二度目以降 は単位認定対象外)

観光まちづくり学部

言語スキル科目群から12単位以上修得すること。ただし、英語8単位、入学手続き時に選択した外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語のいずれか）4単位を含まなければならない。なお、入学時に選択した外国語は変更することができない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
言語技能とリテラシー	アカデミック・リテラシーI	半期	2	1		1・2年次のみ履修可
	アカデミック・リテラシーII	半期	2	1		「アカデミック・リテラシーI」が修得済みであること。
	基礎日本語	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
英語	英語I	半期	2	1	8単位選択必修	「英語I」「英語II」は習熟度別クラス 詳細は38ページ参照
	英語II	半期	2	2		
	英語III	半期	2	1		
	英語IV	半期	2	1		
	英語V	半期	2	1		
外国語	ドイツ語I	半期	2	1	ドイツ語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	選択した外国語の必修科目以外はすべて選択科目として履修可 詳細は39ページ参照
	ドイツ語II	半期	2	1		
	ドイツ語III	半期	2	2		
	ドイツ語IV	半期	2	2		
	フランス語I	半期	2	1	フランス語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	
	フランス語II	半期	2	1		
	フランス語III	半期	2	2		
	フランス語IV	半期	2	2		
	中国語I	半期	2	1	中国語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	
	中国語II	半期	2	1		
	中国語III	半期	2	2		
	中国語IV	半期	2	2		
	韓国語I	半期	2	1	韓国語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	
	韓国語II	半期	2	1		
	韓国語III	半期	2	2		
	韓国語IV	半期	2	2		
	ロシア語I	半期	2	1		
	ロシア語II	半期	2	1		
	スペイン語I	半期	2	1	スペイン語選択者はI(総合)・II(総合)4単位必修	
	スペイン語II	半期	2	1		
	スペイン語III	半期	2	2		
	スペイン語IV	半期	2	2		
	イタリア語I	半期	2	1		
	イタリア語II	半期	2	1		
ポルトガル語I	半期	2	1			
ポルトガル語II	半期	2	1			
留学外国語		半期	2	1	海外留学による単位認定	単位認定は同一言語内において2科目4単位まで(同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外)

英語の履修方法

共通事項

- 原則として、クラス指定の英語は、入学時学力診断の結果に基づく習熟度別クラス編成が行われる。
- 1年次に履修できる英語の上限単位数は、「英語Ⅰ～Ⅴ」の科目名の違いに関わりなく4科目8単位までである。
- 「英語Ⅲ～Ⅴ」は、同一科目名であっても、()内のテーマが異なれば複数履修することができる。
- 教員免許状の取得を希望する場合は、「英語Ⅰ～Ⅴ」から1科目以上を修得すること(182ページ参照)。
- 中国文学科は、「英語Ⅱ」を履修することができない。

日本文学科・史学科・哲学科・法学部・経済学部・神道文化学部

- 1年次前期に「英語Ⅰ(LS)」「英語Ⅰ(RW)」、1年次後期に「英語Ⅱ(LS)」「英語Ⅱ(RW)」を履修することが原則である。
- 1年次に「英語Ⅲ～Ⅴ」の履修を希望する場合は、英語の「飛び級」制度を利用すること。
- 2年次以降は各自の希望により、「英語Ⅲ～Ⅴ」を選択科目として履修することができる。
- 1年次に未修得の単位があった場合は、2年次以降卒業までに「英語Ⅲ～Ⅴ」で充足すること。

中国文学科

- 1年次前期に「英語Ⅰ(LS)」を履修することが原則である。
- 1年次前期に「英語Ⅲ～Ⅴ」の履修を希望する場合は、英語の「飛び級」制度を利用すること。
- 1年次後期以降は各自の希望により、「英語Ⅲ～Ⅴ」を選択科目として履修することができるが、卒業要件124単位のうちに含めることができるのは、「英語Ⅰ(LS)」を含めて4単位までである。
- 1年次前期の「英語Ⅰ(LS)」を修得できなかった場合は、1年次後期以降卒業までに「英語Ⅲ～Ⅴ」で充足すること。

外国語文化学科

- 1年次前期に「英語Ⅰ(LS)」、1年次後期に「英語Ⅱ(RW)」を履修することが原則である。
- 1年次に「英語Ⅲ～Ⅴ」の履修を希望する場合は、英語の「飛び級」制度を利用すること。
- 2年次以降は各自の希望により、「英語Ⅲ～Ⅴ」を選択科目として履修することができる。
- 1年次に未修得の単位があった場合は、2年次以降卒業までに「英語Ⅲ～Ⅴ」で充足すること。

人間開発学部・観光まちづくり学部

- 1年次前期に「英語Ⅰ(LS)」、1年次後期に「英語Ⅰ(RW)」を履修することが原則である。
- 1年次に「英語Ⅲ～Ⅴ」の履修を希望する場合は、英語の「飛び級」制度を利用すること。
- 2年次前期に「英語Ⅱ(LS)」、2年次後期に「英語Ⅱ(RW)」を履修すること。
- 2年次以降は各自の希望により、「英語Ⅲ～Ⅴ」を履修することができる。
- 1～2年次に未修得の単位があった場合は、2年次以降卒業までに「英語Ⅲ～Ⅴ」で充足すること。

英語の「飛び級」制度(1年次のみ)

英語は、「英語Ⅰ～Ⅴ」の授業科目で構成されている。「英語Ⅰ・Ⅱ」は、「リスニングとスピーキング(LS)」「リーディングとライティング(RW)」といった技能別に分けられた授業科目で、英語の基礎的な力の養成を主な目的としている。一方、より上位の「英語Ⅲ～Ⅴ」は、たとえば「英字新聞を読む」といった個々のテーマに基づいて分けられた授業科目である。

1年次^{*1}については、あらかじめ「英語Ⅰ・Ⅱ^{*2～5}」が履修登録され、受講するクラスも事前に指定されているが、英語の学力や学習目標には、学生個々に違いがあることから、次ページに示す履修条件を満たす場合に限り、指定されている「英語Ⅰ・Ⅱ」に代えて^{*6}、「英語Ⅲ～Ⅴ」を履修することができる。この「飛び級」制度の利用を希望する場合は、学期のはじめにK-SMAPYⅡ経由で届く案内に従って申請すること。

※1 中国文学科は、1年次前期のみ。

※2 日本文学科・史学科・哲学科・法学部・経済学部・神道文化学部は、1年次前期に「英語Ⅰ(LS)」「英語Ⅰ(RW)」、1年次後期に「英語Ⅱ(LS)」「英語Ⅱ(RW)」が履修登録される。

※3 中国文学科は、1年次前期に「英語Ⅰ(LS)」が履修登録される。

※4 外国語文化学科は、1年次前期に「英語Ⅰ(LS)」、1年次後期に「英語Ⅱ(RW)」が履修登録される。

※5 人間開発学部・観光まちづくり学部は、1年次前期に「英語Ⅰ(LS)」、1年次後期に「英語Ⅰ(RW)」が履修登

録される。

- ※6 1年次に履修できる上限単位数4科目8単位以内であれば、「英語Ⅰ・Ⅱ」に加えて、「英語Ⅲ～Ⅴ」を履修することができる。

英語Ⅲの履修条件

1年次前期（①～④のいずれかを満たしている。）

- ① TOEIC L&R (IP) 340以上
- ② TOEFL ITP 422以上
- ③ 英検準2級以上
- ④ 英語Ⅲを履修する意欲がある。

1年次後期（①～⑥のいずれかを満たしている。）

- ① TOEIC L&R (IP) 340以上
- ② TOEFL ITP 422以上
- ③ 英検準2級以上
- ④ 英語Ⅲを履修する意欲がある。
- ⑤ 英語Ⅰを4単位修得している（中国文学科・外国語文化学科・人間開発学部・観光まちづくり学部のみ2単位）。
- ⑥ 英語Ⅰ（LS）の単位を修得していない（中国文学科・外国語文化学科・人間開発学部のみ）。

英語Ⅳの履修条件

①～⑤のいずれかを満たしている。

- ① TOEIC L&R (IP) 470以上
- ② TOEFL ITP 452以上
- ③ 英検2級以上
- ④ 英語Ⅳを履修する意欲がある。
- ⑤ 英語Ⅲを2単位以上修得している。

英語Ⅴの履修条件

①～⑤のいずれかを満たしている。

- ① TOEIC L&R (IP) 550以上
- ② TOEFL ITP 470以上
- ③ 英検準1級以上
- ④ 英語Ⅴを履修する意欲がある。
- ⑤ 英語Ⅳを2単位以上修得している。

外国語（英語以外）の履修方法

- 英語以外の外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・スペイン語・イタリア語・ポルトガル語）の科目のうち、「ドイツ語Ⅰ～Ⅳ」「フランス語Ⅰ～Ⅳ」「中国語Ⅰ～Ⅳ」「韓国語Ⅰ～Ⅱ」は、（総合）と（コミュニケーション）という2つのテーマの授業科目を開講する。それ以外の科目は（総合）というテーマの授業科目を開講する。
- 同一科目名であっても、（ ）内のテーマが異なれば複数履修することができる。必修科目として履修する場合は、学科で指定された科目のうち（総合）を履修する（再履修の場合も同様）。同一科目名の（コミュニケーション）は選択科目として履修することができる。

3. STEM系科目群

文学部・法学部・神道文化学部

STEM系科目群から、日本文学科の学生は2単位以上、中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科・法学部・神道文化学部の学生は4単位以上修得すること。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
データ・サイエンス	数的推論Ⅰ	半期	2	1		「数的推論Ⅰ」が修得済みであること
	数的推論Ⅱ	半期	2	1		
	コンピュータと情報Ⅰ	半期	2	1		
	コンピュータと情報Ⅱ	半期	2	1	日本文学科 2単位選択必修	()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可 「コンピュータと情報Ⅰ」が修得済みであることが望ましい
	データ・リテラシー	半期	2	1	中国文学科 外国語文化学科 史学科	
	情報科学入門	半期	2	1		
	データ分析の基礎	半期	2	1		
科学と論理	論理的思考法	半期	2	1	哲学科 法学部	()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	科学的思考法	半期	2	1	神道文化学部	
	地球環境と人間	半期	2	1	4単位選択必修	
	宇宙物理学入門	半期	2	1		
まちづくりとエンジニアリング	まちづくり基礎	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	デジタル・ネットワークの基礎	半期	2	1		

経済学部

STEM系科目群から「数的推論Ⅰ」2単位、「コンピュータと情報Ⅰ」2単位と「コンピュータと情報Ⅱ」又は「データ・リテラシー」のいずれか2単位を含む計6単位以上修得すること。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
データ・サイエンス	数的推論Ⅰ	半期	2	1	2単位必修	「数的推論Ⅰ」が修得済みであること
	数的推論Ⅱ	半期	2	1		
	コンピュータと情報Ⅰ	半期	2	1		
	コンピュータと情報Ⅱ	半期	2	1	2単位選択必修	()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可 「コンピュータと情報Ⅰ」が修得済みであることが望ましい
	データ・リテラシー	半期	2	1		
	情報科学入門	半期	2	1		
	データ分析の基礎	半期	2	1		
科学と論理	論理的思考法	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	科学的思考法	半期	2	1		
	地球環境と人間	半期	2	1		
	宇宙物理学入門	半期	2	1		
まちづくりとエンジニアリング	まちづくり基礎	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	デジタル・ネットワークの基礎	半期	2	1		

人間開発学部

STEM系科目群又はシチズンシップ科目群から、4単位以上修得すること。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
データ・サイエンス	数的推論Ⅰ	半期	2	1	STEM系科目群 又は シチズンシップ 科目群から 4単位選択必修	
	数的推論Ⅱ	半期	2	1		「数的推論Ⅰ」が修得済みであること
	コンピュータと情報Ⅰ※	半期	2	1		
	コンピュータと情報Ⅱ	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可 「コンピュータと情報Ⅰ」が修得済みであることが望ましい
	データ・リテラシー	半期	2	1		
	情報科学入門	半期	2	1		
科学と論理	データ分析の基礎	半期	2	1		
	論理的思考法	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	科学的思考法	半期	2	1		
	地球環境と人間	半期	2	1		
まちづくりとエンジニアリング	宇宙物理学入門	半期	2	1		
	まちづくり基礎	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	デジタル・ネットワークの基礎	半期	2	1		

※ 子ども支援学科については1年次に履修が義務付けられている。

観光まちづくり学部

STEM系科目群から、2単位以上修得すること。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
データ・サイエンス	数的推論Ⅰ	半期	2	1	2単位選択必修	
	数的推論Ⅱ	半期	2	1		「数的推論Ⅰ」が修得済みであること
	コンピュータと情報Ⅰ	半期	2	1		
	コンピュータと情報Ⅱ	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可 「コンピュータと情報Ⅰ」が修得済みであることが望ましい
	データ・リテラシー	半期	2	1		
	情報科学入門	半期	2	1		
科学と論理	データ分析の基礎	半期	2	1		
	論理的思考法	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	科学的思考法	半期	2	1		
	地球環境と人間	半期	2	1		
まちづくりとエンジニアリング	宇宙物理学入門	半期	2	1		
	デジタル・ネットワークの基礎	半期	2	1		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可

データサイエンス教育プログラムについて

政府が示す『AI戦略2019』では、デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能、新たな社会の在り方や製品・サービスをデザインするために必要な基礎力など、持続可能な社会の創り手として必要な力をすべての国民が育み、社会のあらゆる分野で人材が活躍することを目指し、2025年の実現を念頭に「文理を問わず、すべての大学・高専生（約50万人卒／年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得すること」が目標に掲げられています。

本学においても令和3年度より、課題を発見し、問題を定義すること、データを収集・整理し、分析すること、及びソリューションを提案することのできる人材の育成を目的に、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識、技術及びその活用について体系的な教育を行う「データサイエンス教育プログラム」を開設しています。本プログラムへのエントリーは不要で、修了要件を満たした場合には、修了証（オープンバッジ）が発行されます。

なお、このプログラムは、令和4年8月24日付けで文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）における認定プログラムとなりました（認定有効期限は令和9年3月31日までです）。

データサイエンス教育プログラムの詳細は、國學院大學ホームページから閲覧可能です。

(掲載場所)

國學院大學ホームページ：

トップページ > 教育 > 学びの領域とカリキュラム > 共通教育プログラム

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/curriculum/p1>



4. シチズンシップ科目群

文学部・経済学部・神道文化学部

シチズンシップ科目群から、2単位以上修得すること。

授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	半期	2	1	2単位選択必修	（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも8単位まで履修可
政治と社会参加	半期	2	1		
法と社会参加	半期	2	1		
経済と社会参加	半期	2	1		
行政と市民生活	半期	2	1		
情報化社会と市民	半期	2	1		
スポーツと社会	半期	2	1		
共存・共生の思想	半期	2	1		
共生社会とコミュニケーション	半期	2	1		

法学部

シチズンシップ科目群から、2単位以上修得すること。

授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
経済と社会参加	半期	2	1	2単位選択必修	（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも8単位まで履修可
情報化社会と市民	半期	2	1		
スポーツと社会	半期	2	1		
共存・共生の思想	半期	2	1		
共生社会とコミュニケーション	半期	2	1		

人間開発学部

STEM系科目群又はシチズンシップ科目群から、4単位以上修得すること。

授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	半期	2	1	STEM系科目群 又は シチズンシップ科目群から 4単位選択必修	（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも8単位まで履修可
政治と社会参加	半期	2	1		
法と社会参加	半期	2	1		
経済と社会参加	半期	2	1		
行政と市民生活	半期	2	1		
情報化社会と市民	半期	2	1		
スポーツと社会	半期	2	1		
共存・共生の思想	半期	2	1		
共生社会とコミュニケーション	半期	2	1		

観光まちづくり学部

授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	半期	2	1		（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも8単位まで履修可
政治と社会参加	半期	2	1		
法と社会参加	半期	2	1		
経済と社会参加	半期	2	1		
行政と市民生活	半期	2	1		
情報化社会と市民	半期	2	1		
スポーツと社会	半期	2	1		
共存・共生の思想	半期	2	1		
共生社会とコミュニケーション	半期	2	1		

5. 専門教養科目群

文学部・法学部・経済学部

専門教養科目と全学オープン科目から構成される6つのパッケージのうち1つ以上から、それぞれ計8単位以上を修得すること。

なお、自身の所属する学部・学科において専門教育科目として開講されている科目は、専門教養科目として共通教育科目又は全学オープン科目の単位に算入することはできないが、専門教育科目の単位として算入することはできる。

日本の文学と歴史パッケージ（文学部開講科目） 文学部の学生は選択不可

日本の文学と歴史パッケージを選択した者は、下表の科目から8単位以上修得すること。ただし、専門教養科目6単位以上を含まなければならない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法
基礎 (共通教育科目として算入) 専門教養科目	日本中古文学研究Ⅰ	半期	2	2	6単位選択必修
	地域からみた日本の歴史Ⅰ	半期	2	1	
	地域からみた日本の歴史Ⅱ	半期	2	1	
	地域からみた日本の歴史Ⅲ	半期	2	1	
	地域からみた日本の歴史Ⅳ	半期	2	1	
	日本美術史A	半期	2	1・2	
発展 (全学オープン科目として算入) 全学オープン科目	日本文学史Ⅰ	半期	2	2	8単位以上
	日本文学史Ⅱ	半期	2	2	
	日本中古文学研究Ⅱ	半期	2	2	
	日本中世文学研究Ⅰ	半期	2	3・4	
	日本中世文学研究Ⅱ	半期	2	3・4	
	日本近世文学研究Ⅰ	半期	2	3・4	
	日本近世文学研究Ⅱ	半期	2	3・4	
	日本時代史Ⅰ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅱ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅲ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅳ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅴ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅵ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅶ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅷ	半期	2	1	
	日本思想史A	半期	2	1・2	
	日本思想史B	半期	2	1・2	
日本美術史B	半期	2	1・2		

アジアの歴史と文化パッケージ（文学部開講科目） 文学部の学生は選択不可

アジアの歴史と文化パッケージを選択した者は、下表の科目から8単位以上修得すること。ただし、専門教養科目6単位以上を含まなければならない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法
基礎 (共通教育科目として 専門教養科目 算入)	日本上代文学研究Ⅰ	半期	2	2	6単位選択必修
	日本上代文学研究Ⅱ	半期	2	2	
	中国「君子」の世界	半期	2	1	
	中国古典の世界	半期	2	1	
	中国文化の世界	半期	2	1	
	東アジア史Ⅰ	半期	2	1	
	東アジア史Ⅱ	半期	2	1	
発展 (全学オープン科目として算入) 全学オープン科目	中国思想と学術Ⅲ	半期	2	2～4	8単位以上
	中国の思想と伝統Ⅱ	半期	2	2～4	
	中国の思想と伝統Ⅲ	半期	2	2～4	
	中国民俗文化と心Ⅱ	半期	2	2～4	
	中国民俗文化と心Ⅲ	半期	2	2～4	
	東洋地域史Ⅰ	半期	2	1	
	東洋地域史Ⅱ	半期	2	1	
	東洋地域史Ⅲ	半期	2	1	
	東洋地域史Ⅳ	半期	2	1	
	中国思想史A	半期	2	1・2	
	中国思想史B	半期	2	1・2	
	インド思想史A	半期	2	2・3	
	インド思想史B	半期	2	2・3	
	東洋美術史A	半期	2	1・2	
	東洋美術史B	半期	2	1・2	

世界の文化と思想パッケージ（文学部開講科目） 文学部の学生は選択不可

世界の文化と思想パッケージを選択した者は、下表の科目から8単位以上修得すること。ただし、専門教養科目6単位以上を含まなければならない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
基礎 (共通教育科目として算入) 専門教養科目	現代中国の世界	半期	2	1	6単位 選択 必修	()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも計4単位まで複数履修可
	外国文化入門	半期	2	1		
	比較文化論Ⅰ	半期	2	2		
	比較文化論Ⅱ	半期	2	2		
	論理学A	半期	2	1・2		
	芸術学A	半期	2	1・2		
	美学A	半期	2	2・3		
発展 (全学オープン科目として算入) 全学オープン科目	英米地域文化論Ⅰ	半期	2	2	8単位 以上	
	英米地域文化論Ⅱ	半期	2	2		
	ヨーロッパ地域文化論Ⅰ	半期	2	2		
	ヨーロッパ地域文化論Ⅱ	半期	2	2		
	中国地域文化論Ⅰ	半期	2	2		
	中国地域文化論Ⅱ	半期	2	2		
	芸術学B	半期	2	1・2		
	美学B	半期	2	2・3		
	西洋美術史A	半期	2	1・2		
	西洋美術史B	半期	2	1・2		
	比較思想A	半期	2	3・4		
	比較思想B	半期	2	3・4		
	比較芸術学A	半期	2	3・4		
	比較芸術学B	半期	2	3・4		

法学・政治学パッケージ（法学部開講科目） 法学部の学生は選択不可

法学・政治学パッケージを選択した者は、下表の科目から8単位以上修得すること。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考	
基礎	専門教養科目 (共通教育科目として算入)	国際政治入門	半期	2	1	8単位以上	
		政治哲学入門	半期	2	1		
		比較政治入門	半期	2	1		
		地域研究入門	半期	2	1		
		比較法入門	半期	2	1		
		犯罪学入門	半期	2	1		
		法史学入門	半期	2	1		
発展	全学オープン科目 (全学オープン科目として算入)	刑事政策A	半期	2	3・4	8単位以上	
		刑事政策B	半期	2	3・4		
		法制史A	半期	2	3・4		
		法制史B	半期	2	3・4		
		外国法A	半期	2	3・4		
		外国法B	半期	2	3・4		
		政治学概論	半期	2	1		
		国際政治A	半期	2	2		
		国際政治B	半期	2	2		
		政治哲学A	半期	2	3・4		
		政治哲学B	半期	2	3・4		
		比較政治A	半期	2	3・4		
		比較政治B	半期	2	3・4		
		地域研究	半期	2	3・4		
		地域研究演習	半期	2	3・4		

()内のテーマが異なれば複数履修可
 ()内のテーマが異なれば4単位まで複数履修可

経済学パッケージ（経済学部開講科目） 経済学部の学生は選択不可

経済学パッケージを選択した者は、下表の科目から8単位以上修得すること。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	履修条件科目 ^{※1}	履修推奨科目 ^{※2}	
基礎 (算入)	専門教養科目 (共通教育科目として)	日本の経済	半期	2	1	8単位以上		
		経済理論入門	半期	2	1			
		世界経済入門	半期	2	1			
		経済史入門	半期	2	1			
		統計入門	半期	2	1			
		経済経営数学入門	半期	2	1			
		経済学史入門	半期	2	2			
発展 (算入)	全学オープン科目 (全学オープン科目として算入)	マクロ経済Ⅰ	半期	2	2			経済理論入門
		ミクロ経済Ⅰ	半期	2	2			経済理論入門
		財政の基礎	半期	2	3			
		金融の基礎	半期	2	3			
		マクロ経済Ⅱ	半期	2	2			経済理論入門
		ミクロ経済Ⅱ	半期	2	2			経済理論入門
		ビジネスリサーチ	半期	2	2			経済経営数学入門
		現代日本経済	半期	2	3			
		国際経済	半期	2	3			世界経済入門
		労働経済	半期	2	3		現代日本経済	
		社会経済学	半期	2	3			
地域と都市の経済	半期	2	3		経済理論入門			

※1 授業科目の履修に際して単位修得が履修条件となる科目

※2 授業科目の履修に際して事前の単位修得が望まれる科目

経営学パッケージ（経済学部開講科目） 経済学部の学生は選択不可

経営学パッケージを選択した者は、下表の科目から8単位以上修得すること。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	履修条件科目 ^{※1}	履修推奨科目 ^{※2}	
基礎 (算入)	専門教養科目 (共通教育科目として)	経営入門	半期	2	1	8単位以上		
		会計入門	半期	2	1			
		日本の経済	半期	2	1			
		統計入門	半期	2	1			
		経済経営数学入門	半期	2	1			
		簿記の基礎	半期	2	2			会計入門
		経営学史	半期	2	3			
発展 (算入)	全学オープン科目 (全学オープン科目として)	経営戦略	半期	2	3			経営入門
		経営組織	半期	2	3			経営入門
		マーケティングの基礎	半期	2	3			経営入門
		財務会計	半期	2	3			会計入門
		ビジネスリサーチ	半期	2	2			経済経営数学入門
		現代ビジネス	半期	2	3			経営入門
		企業財務	半期	2	3			経営入門
国際経営	半期	2	3		経営入門			

※1 授業科目の履修に際して単位修得が履修条件となる科目

※2 授業科目の履修に際して事前の単位修得が望まれる科目

神道文化学部・人間開発学部・観光まちづくり学部

自身の所属する学部・学科において専門教育科目として開講されている科目は、専門教養科目として共通教育科目又は全学オープン科目の単位に算入することはできないが、専門教育科目の単位として算入することはできる。

日本の文学と歴史パッケージ（文学部開講科目）

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法
基礎 (共通教育科目として算入) 専門教養科目	日本中古文学研究Ⅰ	半期	2	2	
	地域からみた日本の歴史Ⅰ	半期	2	1	
	地域からみた日本の歴史Ⅱ	半期	2	1	
	地域からみた日本の歴史Ⅲ	半期	2	1	
	地域からみた日本の歴史Ⅳ	半期	2	1	
	日本美術史A	半期	2	1・2	
発展 (全学オープン科目として算入) 全学オープン科目	日本文学史Ⅰ	半期	2	2	
	日本文学史Ⅱ	半期	2	2	
	日本中古文学研究Ⅱ	半期	2	2	
	日本中世文学研究Ⅰ	半期	2	3・4	
	日本中世文学研究Ⅱ	半期	2	3・4	
	日本近世文学研究Ⅰ	半期	2	3・4	
	日本近世文学研究Ⅱ	半期	2	3・4	
	日本時代史Ⅰ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅱ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅲ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅳ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅴ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅵ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅶ	半期	2	1	
	日本時代史Ⅷ	半期	2	1	
	日本思想史A	半期	2	1・2	
	日本思想史B	半期	2	1・2	
日本美術史B	半期	2	1・2		

アジアの歴史と文化パッケージ（文学部開講科目）

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	
基礎	専門教養科目 (共通教育科目として 算入)	日本上代文学研究Ⅰ	半期	2	2	
		日本上代文学研究Ⅱ	半期	2	2	
		中国「君子」の世界	半期	2	1	
		中国古典の世界	半期	2	1	
		中国文化の世界	半期	2	1	
		東アジア史Ⅰ	半期	2	1	
		東アジア史Ⅱ	半期	2	1	
発展	全学オープン科目 (全学オープン科目として算入)	中国思想と学術Ⅲ	半期	2	2～4	
		中国の思想と伝統Ⅱ	半期	2	2～4	
		中国の思想と伝統Ⅲ	半期	2	2～4	
		中国民俗文化と心Ⅱ	半期	2	2～4	
		中国民俗文化と心Ⅲ	半期	2	2～4	
		東洋地域史Ⅰ	半期	2	1	
		東洋地域史Ⅱ	半期	2	1	
		東洋地域史Ⅲ	半期	2	1	
		東洋地域史Ⅳ	半期	2	1	
		中国思想史A	半期	2	1・2	
		中国思想史B	半期	2	1・2	
		インド思想史A	半期	2	2・3	
		インド思想史B	半期	2	2・3	
		東洋美術史A	半期	2	1・2	
		東洋美術史B	半期	2	1・2	

世界の文化と思想パッケージ（文学部開講科目）

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
基礎 （共通教育科目として算入） 専門教養科目	現代中国の世界	半期	2	1		（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも計4単位まで複数履修可
	外国文化入門	半期	2	1		
	比較文化論Ⅰ	半期	2	2		
	比較文化論Ⅱ	半期	2	2		
	論理学A	半期	2	1・2		
	芸術学A	半期	2	1・2		
	美学A	半期	2	2・3		
発展 （全学オープン科目として算入） 全学オープン科目	英米地域文化論Ⅰ	半期	2	2		
	英米地域文化論Ⅱ	半期	2	2		
	ヨーロッパ地域文化論Ⅰ	半期	2	2		
	ヨーロッパ地域文化論Ⅱ	半期	2	2		
	中国地域文化論Ⅰ	半期	2	2		
	中国地域文化論Ⅱ	半期	2	2		
	芸術学B	半期	2	1・2		
	美学B	半期	2	2・3		
	西洋美術史A	半期	2	1・2		
	西洋美術史B	半期	2	1・2		
	比較思想A	半期	2	3・4		
	比較思想B	半期	2	3・4		
	比較芸術学A	半期	2	3・4		
	比較芸術学B	半期	2	3・4		

法学・政治学パッケージ（法学部開講科目）

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考	
基礎	専門教養科目 (共通教育科目として算入)	国際政治入門	半期	2	1		
		政治哲学入門	半期	2	1		
		比較政治入門	半期	2	1		
		地域研究入門	半期	2	1		
		比較法入門	半期	2	1		
		犯罪学入門	半期	2	1		
		法史学入門	半期	2	1		
発展	全学オープン科目 (全学オープン科目として算入)	刑事政策A	半期	2	3・4		
		刑事政策B	半期	2	3・4		
		法制史A	半期	2	3・4		
		法制史B	半期	2	3・4		
		外国法A	半期	2	3・4		
		外国法B	半期	2	3・4		
		政治学概論	半期	2	1		
		国際政治A	半期	2	2		
		国際政治B	半期	2	2		
		政治哲学A	半期	2	3・4		
		政治哲学B	半期	2	3・4		
		比較政治A	半期	2	3・4		
		比較政治B	半期	2	3・4		
		地域研究	半期	2	3・4		()内のテーマが異なれば複数履修可
		地域研究演習	半期	2	3・4		()内のテーマが異なれば4単位まで複数履修可

経済学パッケージ（経済学部開講科目）

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	履修条件科目 ^{※1}	履修推奨科目 ^{※2}
基礎 (算入)	専門教養科目 (共通教育科目として)	日本の経済	半期	2	1		
		経済理論入門	半期	2	1		
		世界経済入門	半期	2	1		
		経済史入門	半期	2	1		
		統計入門	半期	2	1		
		経済経営数学入門	半期	2	1		
		経済学史入門	半期	2	2 ^{※3}		
発展 (算入)	全学オープン科目 (全学オープン科目として算入)	マクロ経済Ⅰ	半期	2	2		経済理論入門
		ミクロ経済Ⅰ	半期	2	2		経済理論入門
		財政の基礎	半期	2	3		
		金融の基礎	半期	2	3		
		マクロ経済Ⅱ	半期	2	2	経済理論入門	
		ミクロ経済Ⅱ	半期	2	2	経済理論入門	
		ビジネスリサーチ	半期	2	2	経済経営数学入門	
		現代日本経済	半期	2	3		
		国際経済	半期	2	3		世界経済入門
		労働経済	半期	2	3	現代日本経済	
		社会経済学	半期	2	3		
		地域と都市の経済 ^{※4}	半期	2	3 ^{※5}	経済理論入門	

- ※1 授業科目の履修に際して単位修得が履修条件となる科目
- ※2 授業科目の履修に際して事前の単位修得が望まれる科目
- ※3 観光まちづくり学部での開講学年は1年
- ※4 観光まちづくり学部では、専門教育科目として算入
- ※5 観光まちづくり学部での開講学年は2年

経営学パッケージ（経済学部開講科目）

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	履修条件科目 ^{※1}	履修推奨科目 ^{※2}
基礎 (算入)	専門教養科目 (共通教育科目として)	経営入門	半期	2	1		
		会計入門	半期	2	1		
		日本の経済	半期	2	1		
		統計入門	半期	2	1		
		経済経営数学入門	半期	2	1		
		簿記の基礎	半期	2	2	会計入門	
		経営学史	半期	2	3		経営入門
発展 (算入)	全学オープン科目 (全学オープン科目として)	経営戦略	半期	2	3	経営入門	
		経営組織	半期	2	3	経営入門	
		マーケティングの基礎	半期	2	3	経営入門	
		財務会計	半期	2	3	会計入門	
		ビジネスリサーチ	半期	2	2	経済経営数学入門	
		現代ビジネス	半期	2	3	経営入門	
		企業財務	半期	2	3	経営入門	
		国際経営	半期	2	3	経営入門	

- ※1 授業科目の履修に際して単位修得が履修条件となる科目
- ※2 授業科目の履修に際して事前の単位修得が望まれる科目

6. ライフデザイン科目群

文学部・法学部・経済学部・神道文化学部

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
スポーツ科学	スポーツ実技A	半期	1	1		教職課程登録者のみ履修可
	スポーツ科学論	半期	2	1		
	生涯スポーツ実技	半期	1	1		8単位まで複数履修可（同じ種目の複数履修も可）
こころとからだ	こころとからだのリテラシー	半期	2	1		() 内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
キャリア形成支援	ライフデザインⅠ [※]	半期	2	1		() 内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	ライフデザインⅡ	半期	2	1		
PCAP科目	論理・推理・解釈	半期	2	2・3	詳細は 153ページ 参照	PCAP登録者のみ履修可
	基礎法律学Ⅰ	半期	2	1・2		
	基礎法律学Ⅱ	半期	2	2・3		
	応用法律学	半期	2	2・3		
	論述問題演習	半期	2	3・4		
	パブリックサービス・インターンシップⅠ	半期	1	2・3		
	パブリックサービス・インターンシップⅡ	半期	2	2・3		
	Qualification English	半期	2	2		
	Business English Writing	半期	2	2		
	Advanced Business English	半期	2	2		
	Economics of GlobalizationⅠ	半期	2	2・3		
Economics of GlobalizationⅡ	半期	2	2・3			
グローバルインターンシップ&セミナー	半期	2	2・3			

※ 「ライフデザインⅠ（スタートアップ）」の履修は一度限りであり、単位が修得できなかった場合に再履修することはできない。また、原則として2年次以降に履修することはできない。

人間開発学部

ライフデザイン科目群から、初等教育学科・健康体育学科の学生は4単位以上、子ども支援学科の学生は5単位以上修得すること。ただし、初等教育学科・健康体育学科の学生については、「導入基礎演習」2単位、「スポーツ実技A」1単位、「スポーツ実技B」1単位が、子ども支援学科の学生については、「導入基礎演習」2単位、「スポーツ実技A」1単位、「スポーツ科学論」2単位が含まれていなければならない。

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法		備考
					初等教育 健康体育	子ども支援	
導入科目	導入基礎演習	半期	2	1	2単位必修	2単位必修	
スポーツ 科学	スポーツ実技A	半期	1	1	1単位必修	1単位必修	
	スポーツ実技B	半期	1	1	1単位必修	履修不可	
	スポーツ科学論	半期	2	1		2単位必修	
	生涯スポーツ実技	半期	1	1			8単位まで複数履修可（同じ種目の複数履修も可）
こころとからだ	こころとからだのリテラシー	半期	2	1			()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
キャリア 形成支援	ライフデザインⅠ*	半期	2	1			()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	ライフデザインⅡ	半期	2	1			
PCAP科目	論理・推理・解釈	半期	2	2・3	詳細は153ページ参照		PCAP登録者のみ履修可
	基礎法律学Ⅰ	半期	2	1・2			
	基礎法律学Ⅱ	半期	2	2・3			
	応用法律学	半期	2	2・3			
	論述問題演習	半期	2	3・4			
	パブリックサービス・インターンシップⅠ	半期	1	2・3			
	パブリックサービス・インターンシップⅡ	半期	2	2・3			
	Qualification English	半期	2	2			
	Business English Writing	半期	2	2			
	Advanced Business English	半期	2	2			
	Economics of GlobalizationⅠ	半期	2	2・3			
Economics of GlobalizationⅡ	半期	2	2・3				
グローバルインターンシップ&セミナー	半期	2	2・3				

※ 「ライフデザインⅠ（スタートアップ）」の履修は一度限りであり、単位が修得できなかった場合に再履修することはできない。また、原則として2年次以降に履修することはできない。

観光まちづくり学部

科目区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
スポーツ科学	スポーツ科学論	半期	2	1		
	生涯スポーツ実技	半期	1	1		8単位まで複数履修可（同じ種目の複数履修も可）
こころとからだ	こころとからだのリテラシー	半期	2	1		() 内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
キャリア形成支援	ライフデザインⅠ*	半期	2	1		() 内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	ライフデザインⅡ	半期	2	1		
PCAP科目	論理・推理・解釈	半期	2	2・3	詳細は 153ページ 参照	PCAP登録者のみ履修可
	基礎法律学Ⅰ	半期	2	1・2		
	基礎法律学Ⅱ	半期	2	2・3		
	応用法律学	半期	2	2・3		
	論述問題演習	半期	2	3・4		
	パブリックサービス・インターンシップⅠ	半期	1	2・3		
	パブリックサービス・インターンシップⅡ	半期	2	2・3		
	Qualification English	半期	2	2		
	Business English Writing	半期	2	2		
	Advanced Business English	半期	2	2		
	Economics of GlobalizationⅠ	半期	2	2・3		
	Economics of GlobalizationⅡ	半期	2	2・3		
グローバルインターンシップ&セミナー	半期	2	2・3			

※ 「ライフデザインⅠ（スタートアップ）」の履修は一度限りであり、単位が修得できなかった場合に再履修することはできない。また、原則として2年次以降に履修することはできない。